

組部 工年 香青 「良いコンクリート構造物を」 建協青年部と合同研修会



松永恵理会長

香川県生コンクリート工業組合青年部(松永恵理会長)と香川県建設業協会支部青年部(佐々木宏和会長)は2日、合同研修会を開催した。6回目となる今回は「良いコンクリート構造物を創ろう」をテーマに講演、パネルディスカッションが行われた。

冒頭、松永会長が「合同研修会には各地から多くのご参加をいただき、大変うれしく思う。無事

開催できたのも、皆様のご理解と協力のおかげである。合同研修会を通じて、皆様の今後の業務や活動において少しでもお役に立つことができれば幸いである」とあいさつした。

当日は、十河茂幸近未来コンクリート研究会代表による特別講演「良いコンクリート構造物を創るには」が行われた。講演では良いコンクリート構造物の条件やコンクリートに生じる変状と対策、良いコンクリートを造るための要点、コンクリート構造物の延命化の要点を解説した。十河氏はコンクリート構造物の

あり方として「本来は高耐久性であるべき」更新が必要なら、耐用年数を設定「維持管理をする場合は維持管理計画」ライフサイクルコストで方針を決定「土木構造物と建築物の違いを想定」といった点を示した。コンクリート工事にあたっては設計と施工の連携が重要であるとしたほか、「生コンの製造が品質を決める」こと、「維持管理の要点は予防保全にある」と提案した。

「満点評価が得られるケースが少なく、コンクリートの施工は難しいことがわかる」とする。技術検査官が直接目視確認できるのはコンクリート構造物の表面のみであり、コンクリートの品質の

いて」を講演した。工事成績採点にあたり技術検査官の調査項目は、「施工管理」「出来形」「品質」「出来ばえ」の4項目が対象であるとした。このうち出来ばえについては、コンクリート構造物の表面状態や天端・端部の仕上、クラックの有無などの評価対象項目の該当数により評価を行う

「善し悪し」は表面に現れるとした。

三好智猛香川県土木部技術企画課工事検査室長が基調講演「建設工事における品質評価について」を行った。香川県の工事成績評価のうちコンクリートに関する品質は、出来形および出来ばえの品質の評価に加え、創意工夫において加

点評価する場合があるとされた。施工関係の調査項目は「コンクリート打設等の施工に関する工夫」、品質関係は「コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫」、新技術活用では「NETIS登録技術のうち推奨技術、準推奨技術、活用促進技術を活用している」であった。

パネルディスカッション「良いコンクリート構造物と生コンの品質管理」では、コーディネータを松永会長が務め、パネラーとして十河氏、田邊氏、三好氏、横田昌弘氏(横田建設)、平井一夫氏(大成生コン)が参加した。パネルディスカッションでは学識、行政、施工者、生コンのそれぞれの立場から「良いコンクリート構造物」についての提案を行った。



合同研修会には多くの人が参加した

パネルディスカッション「良いコンクリート構造物と生コンの品質管理」では、コーディネータを松永会長が務め、パネラーとして十河氏、田邊氏、三好氏、横田昌弘氏(横田建設)、平井一夫氏(大成生コン)が参加した。パネルディスカッションでは学識、行政、施工者、生コンのそれぞれの立場から「良いコンクリート構造物」についての提案を行った。